三和新報
THE SANWASHIMPO
第337號（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）
日刊（日曜・祝・祭日を除く）　購読料　1カ月　50円

6月8日
（水曜日）

発行所
三和新報社
平市六丁目
電472番

きものと帯の御用命は
かみや
平市二丁目電256

内郷で吏員大會
山口氏の告訴に抗議

内郷市役所吏員百十名は八日午後四時から浅野記念館で吏員大会をひらき四日福島地検平支部に去る四月三十日行われた市長選挙に敗れた議員派の内郷市綴町々ノ内食品業山口甚六氏（六三）から開票録ならびに公文書偽造で告訴された市役所庶務課書記吉田隆治氏（三七）の問題について協議し決議書を作つて沼田市長ならびに選挙管理委員長に提出する。

開票録偽造の疑いがあるという告訴内容は入場者が実際投票者より五人多かつたことを吉田氏が知りながら隠ぺいしニセの記録をしたというものでこれに対し吉田総務課長は「真相はわからない、この問題は吉田君一人の問題ではなく吾々は同僚として黙視しているわけにはゆかない」と語つている。

中小鉱に暗い夏場
救援の手を待つ失業者

中小炭鉱の夏枯れはいよいよ深刻で、クビを切られた失業者たちは食うや食わずのドン底生活にあえぎながら、救援の手を待つている昨年十二月休山した勿来市川部三松炭鉱の失業者百三十名の失業保険金は今月末から七月上旬にかけて期限（六カ月間）が切れ支払が停止されることになつており同地区の愛国、伊東両炭鉱の整理者卅名もあと二、三カ月間で失保金がもらえなくなる。平職安所では失保金の期限が切れたものは失対事業に就労させる計画で七日から適格者調べをはじめた。しかし就労枠にも限度があり、こんど古川勿来市長が、県と労働省に陳情してもらつてきた三百の枠を入れてもアブレをなくすことはできない。

遠野町大東炭鉱の整理者百十五名は今月末から失保金（月収の六割）をもらつて細々とくらしを立てることになつており中小炭鉱の夏は暗い影に包まれている。

大昭の子へ
救援の千円
常磐市婦人会から

空腹に耐えかねてグミを食べて死んだ子も出たという大昭炭鉱の窮状を、本紙で知つた常磐市婦人会（会長深沢ミツさん）では会員が集まつて、七日県教委石城出張所を通じ「何かの足しにして下さい」と欠食児童の多い山田二小に現金千円を贈つた。夏枯れの危機にあえぐ炭鉱救援の第一号である。

常磐石炭史の刊行

尼子会は去る昭和二十八年五月、蓬来信男、新田目五郎、大塚静雄氏らにより数回の会合がもたれ結成されてから夏期大学講習会、音楽会など数多い文化的な仕事をしてきたが地方にありがちなセクト主義的感情を一てきし、市民大衆の中にとけこむという文化運動本来の在り方を押しひろげたゝめ支持者が多く大きな勢力となりつゝある。ことに尼子双書の出版は第一集「飯野文書」第二集「常磐地方総合開発の一考案」（大塚静雄氏）第三集「愚庵の父母妹」（瀬谷真吉郎氏）と貴重な文献の上梓にたゆまない努力を払つている。

こんど清宮一郎氏の「常磐炭田史」が刊行されるが、これは清宮氏、積年の労作によるもので清宮氏ならではという金パクつきの貴重な資料、常磐地方の歴史は石炭をぬきにしては語れぬものだけに、石炭をめぐつて動いた当時の名士、政治家の全ぼうが手にとるようにくりひろげられている。殊に巻末の八十頁にわたる年表は詳細を極め、これだけでも、千金の価がある。

父兄を連れ石城巡り
田村へ轉任した教師

去る三月末の異動で石城郡に転任した教員が故郷〃いわき〃の観光地宣伝を兼ねて生きた社会教育をするためにPTA関係者を連れて来郡することになり、これをきいた石城の同僚教員たちが観光団の受入れ準備を進めているという観光宣伝の友愛美談がある。

観光団は常磐市長倉小学校から田村郡の隣の巣村小学校長に転任した宮本義門氏を引率者とする三春町教育長、同PTA関係者など三十名で七月十六日から一泊二日の日程で常磐炭鉱磐崎鉱、小名浜港、豊間灯台、沼ノ内弁財天などを観光バスでめぐるもので、これをきいた友人の豊間小学校長小林正人氏や教組石城支部長松本久氏らが「海に縁のうすい人たちに海の楽しみを満喫させてやろう」と宿舎や見学地の世話など準備を進めている。

宮本校長の話＝海を見たことがないという人もあるので、炭鉱と海の学校見学をかねて〃いわき〃の観光地めぐりを計画したワケだ。受入れ準備を進めてくれる同僚たちの友情に感激している。

尼子会第四のヒット
常磐炭田史刊行
清宮一郎氏の労作成る

清宮一郎氏の労作になる「常磐炭田史」が尼子会双書として近く上梓される。B六版二百頁、若松光一郎氏の装ていで百年の常磐炭田史を時の動きと平行してとらえ興趣ぶかい資料によつて描かれているが巻末八十頁にわたる石炭年表と人名索引は貴重な労作として光つている。内容は

第一章常磐炭の発見と幕末時代で、神永喜八、片寄平蔵の活躍ぶりを描き、特に水戸烈公の大砲鋳造と茨城炭の使用にふれ、第二章、中央資本の進出では、後藤象次郎にはじまり、竹内綱の企業や、浅野総一郎の磐城炭鉱社創立に至る経過を語り。第三章で白井遠平と磐城炭田。第四章、常磐線開通と炭鉱事業に於いて、隆盛の一途を辿る当時の模様を詳述し、一転。第五章古賀春一の生涯に及んで不運な故人の哀悼に一掬の涙をそゝぎ最後に。第六章、常磐炭鉱株式会社の成立と現在活躍している人々を点綴し将来の炭鉱経営のあり方を興味深く示唆している。

温泉問題検討
常磐財産区會

常磐市財産区会は六日ひらき副議長に宮本与四郎氏を選任した後協議会に移り温泉問題について協議した結果六坑からの揚湯廃止にともない水野谷地区からの引湯は必至になるので早急に常磐炭鉱から説明があつたA案、B案のうちいずれをとり負担金を如何にすべきかについて協議会をひらくことをきめ閉会した、常磐炭鉱の送湯管布設計画説明によるとA案は延長千三百米で工費九百三十二萬円、B案では延長二千八百五十米で工費は千四百五萬円となつている。

一青年の努力で
平オーケストラを編成
こんどは平版「ここに泉あり」

若き一青年の音楽に対する情熱が四年間のあらゆる困難を克服してついに市民オーケストラを結成し八月には第一回演奏会を開くという文字通りの〃ここに泉あり〃石城版があり、さきに本紙に報道された湯本版とともに街の話題になつている。

平市鎌田字岸調律技師二面典勝さん（三四）は永く静岡県浜松市の日本楽器で調律技術を学び四年前の昭和二十六年生れ故郷の平市に戻つてきたがパチンコ、ストリップそして競輪に夢中になり青少年までが歓楽街で浮かれているのをみて〃市民のオーケストラーをつくつて、この荒んだ故郷を救おう〃と決心した。

それからの二面さんは街の楽師を説いて廻り資金や練習場もなくジャズやマンボに浮かれている大衆にオーケストラが理解できるか、とアザ笑われたことも数度、そのたびに固い決心もくじけそうになつたが調律の関係で各学校をまわつた機会に音楽教師に計画を話したところ〃ぜひやつて下さい〃と力強い声援が起り指揮者の内郷二中松崎信一郎氏をはじめ勿来、植田、内郷、平の教員十七名平の有志三名計二十名のメンバーが集つたそこで今年の一月から三回ほどめいめい楽器を持ちより〃マルトモホール〃で練習を行い、さる四月二十八日マルトモホールで〃平市民オーケストラ〃を結成。八月に平市公会堂で第一回演奏会、十一月には小、中、高校の合唱団と合同演奏会を開く予定が組まれている。

二面さんの話＝結成後間もないので資金や会場、楽器の不足それに勤務の関係で全員揃うことが少いなどまだ困難ですが音楽を通して明るい街をつくるため頑張りたいと思つております、現在の構成メンバーはヴァイオリン七名、セロ一名、クラリネット一名、トロンボン一名トランペット二名、フルート二名、バリトン一名ピアノ一名ドラム一名ですが将来はビオラやゲンバス、サックスなどを揃え定期演奏会をやつたり職場や学校で巡回演奏をやりたいと計画しています。

羽仁女史ら來平
七月二十四日から夏期大会

平市教委では六日夏期大学開講を協議した結果、七月二十四日から二十八日までの五日間、公会堂で開くことになつた。講師は次の通り。

明大教授西村孝次、自由学園教授羽仁説子、東大教授大河内一男、農政学者福島要一、専修大学講師田辺繁子。

ミシンはハッピイ
縫の小山で

オート三輪車
人家に突込む
ゆうべ平和通りで

七日午後八時四十分ごろ平市三丁目県道地内で同市小泉字東小野臨典（二九）はオート三輪車を運転中、前から自転車できた常磐市湯本字下浅貝ボーリング工管野光雄さん（三三）をよけようとしたがブレーキが故障していたため衝突、管野さんに右下腿部四週間の傷を負わせたほか勢いあまつて常磐商事KK（鈴木勇氏）に突つこみガラス戸とこし板一坪をこわした。

磁石でパチンコ屋荒し

磐城市蛭川南無職森勇（三〇）は六日午後五時ごろ常磐市湯本字三函東消パチンコ吉田タケさん方で磁石をつかつて玉をとつているのを店員に発見され常磐署員につかまつた。磁石をつかいパチンコ店荒しをやつていた常習犯らしい。

新卒生四十名就職
休業の片倉

マユ不足で休業中の片倉製糸平工場に今年の学卒四十二名が七日入所した。工場では休業中に繰糸技術をみつちり仕込んで、春マユが入荷次第、すぐに繰糸部門の第一線に送り込む。新入者は住込みで手取り二千七百円、お花、茶の湯なども教えるというから就職難の御時世には耳よりの話。なお休業中の従業員二百四十三名には休業手当として月収の六割支給される

内郷商工會
役員改選

内郷市商工会ではこのほど総会をひらき役員の改選を行い次の通り決めた。

▽会長鈴木喜政▽副会長大瀧九之助、恵原猪和男▽幹事高原庄五郎、志賀東一、牛久信一郎、佐藤文夫。

最も美しいデザイン
ブラウス
☆ワンピース
平指定商
平市三丁目
電・1608 1093
洋服と洋品
盛髙屋
モリタカヤ

清松院　葬送の際は御多用中にも拘らず遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御香奠を賜り御芳志の段誠に有難く御礼申上げます
早速拝趨の上御礼申上げるのが本意で御座いますが略儀乍ら紙上を以て御礼の御挨拶申上げます
敬具
昭和三十年六月八日
平市田町二十六番地
喪主　佐藤幸太郎
妻　タマ
外　親戚一同

平競輪
6月　11日（土）12日（日）13日（月）
発走　午前10時
場外賣場　大町・郡山
若松・福島

哀愁

田町秀也

旅のつばめはね、旅のつばめは
忘れずに、必ず古巣へ帰るのに
恋は帰らぬ流れ雲、絶えた便り
をなんとしよう

「赤と黒」や「風と共に去りぬ」のような大ロマンも、せんじつめれば人生の哀しゆうを追及していることになる—というような話がでた。こういう茶の間文学論にはもちろん異議も出ようが、文学への情熱など案外こんな感情の抵抗から発想されるものかもしれない哀愁の醗酵は男女のトラブルを温床とする場合が多い。従つて文学における「哀愁」の重量は極めて大きく日本文学の名作といわれる作品もほとんどすべてが男女の哀愁を描いているといつてよい。自然主義の田山花袋の「蒲団」にはじまり、鏡花の「婦系図」漱石の「虞美人草」鴎外の「雁」虚花の「不如帰」紅葉の「金色夜叉」など一連の代表作は、これ、ことごとく男女の哀愁をうたつており、大正、昭和にかけて、それぞれ、スタイルや主情、主知の度合に多少の推移はあつても、必ず男女の哀しゆうがその底流をなしていることは否めない。

「だからわたしは、さのさが好きよ」という女がいてもあながち、笑えないというオチをつけて、今日のお話は終り。

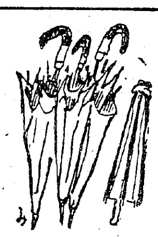
赤と黒

平郵便局内 佐久間俊夫

フランス版「風と共に去りぬ」といわれるスタンダール原作の、文芸映画「赤と黒」「肉体の悪魔」「青い麦」で現代の文学を映画の中に移植した、〃クロード・オータン=ララ〃が再びそのすぐれた協力者〃ジャン・オーランシユ〃と〃ピエール・ポスト〃のシナリオを得て、文豪〃スタンダール〃が描いた、不朽の名作をどの程度まで表現し得たか、多大の期待をもつて観ました。現代の心理小説の、先駆をなしたという、原作の心理と心理の葛藤を見事に描き分けて、愛慾に苦しむ人生の大問題をとらえ、教会堂をバツクに、人の心の中に深くこれを掘り下げて肉慾という悪魔と、清浄な神の御心との斗争を遺憾なく表現し「愛は死よりも強し」という宗教的哲理をよく描破した点、さすがに名匠の名に恥じぬ大作でした。

加えてキャストは「熱狂の孤独」「しのび逢い」のジエラール・フイリツプが〃主人公〃ジユリアン・ソレル〃になりきつての演技で、映画評論家「双葉十三郎」さえ〃ジエラール・フイリツプ〃の前にジユリアン・ソレルなく、ジエラール・フイリツプ〃の後にジユリアン・ソレルなしと激賞しているほどすぐれた演技力を示しております。

また、フランスの大女優といわれる、〃ダニエル・ダリユウ〃が中年女の愛慾に悶え苦しむ心理的変化をまざまざと表現しきつて、心を打つものがありました。その他皆、適役で好演技を示し、久し振りにみごたえある映画でした。多かれ少かれ現代人は〃ジユリアン・ソレル〃ではないでしようか？或る者は美貌である者は才智で！又めいめいがいさゝかの自惚をもつてこの生き難い世に懸命にあえいでおります。そして、また民主憲法の下に、根強く残る階級という観念！、こんなことを痛烈に考えさせられる映画でした。



私の読書

マンガ本

磐炭労委員長 大河原一次

幼い時は、誰しもマンガに大部分の生活をかけている。もちろん大人になつてもマンガは休息を与え明日への新しい意欲をわきたたせてくれる。と、いつたら笑う人があるかも知れぬが、私は勤務が終えて家に帰ると、軽いマンガでつかれた頭を冷すようにしている。サザエさんも、フクちやんも、或はクリちやんやブロンデーなどその中にもられた皮肉な社会観、人生観に思わず微苦笑せざるを得ない。しかし、世の中は悪書追放の嵐がふきまくり、ややもすると健全なマンガも槍玉にあげられかねない。子供たちに楽しい夢を与えるように大人にも休息をあたえるマンガがもつとあつてよいのではないだろうか。マンガは私のよき伴侶でもある。

消えた靴下

旅の思い出

盛高屋常務 会田正一

「オヤスミなさい」こういつて電灯を消した宿の女中の言葉を夢うつつに聞いて眠つた。—何時間すぎたろう、アタマをもたげると朝がきていた出発の汽車までにはまだ充分に時間がある。朝食をしたためて、サテ旅装をととのえようとしたところ、アラ不思議、ゆうべ手拭と一緒に廊下のテスリにかけておいた靴下の片方がないではないか、風でとんだかナ、こう思つてさがしてみたがナイ。女中に聞いても知らないという「ネズミが引いて行つたかな」という頼りない返事、こ戸ぶくろの中、雨どいの中、さがし廻つているうちに汽車の時間が迫つてくる。ナイ、アリマセン。汽車に遅れる。片方の靴下をつつかけるとあたふたと宿の玄関をとび出した。靴下を買うヒマがないドタバタと駅へ、やつと間にあつた片方だけ靴下をはいて韋駄天走りにつつ走つた大の男の姿、私は思いかえして苦笑した。あの靴下はどこへ消えたか？今もつて私にはナゾである。ズラリと店に並んだ靴下を見るたびに、あのときのことが旅の思い出としてマブタに浮んでくる。あれは東京出張のときだつた—

音樂の店
高野文化堂
平駅前

ワイシャツ余聞

○—平市某官庁のH、O君このごろ来客のたびごとに「東京の品物は違いますなあ—これ俺の着てるこのワイシヤツどうです、どこかアカぬけしてるでしよう、高島屋ですよ タ、カ、シ、マ、ヤ、立派なものでしよう、先日ね三着買つてきたんですよ、東京は高島屋でね、ホーラここにネームが入つているでしよう、東京タカシマヤとねアツハツハ」彼氏はつい三日ほど前、平郵便局から高島屋の通信販売ワイシヤツ、三着で一金二千円也を受取つたものである。

僕はダイジョウビ

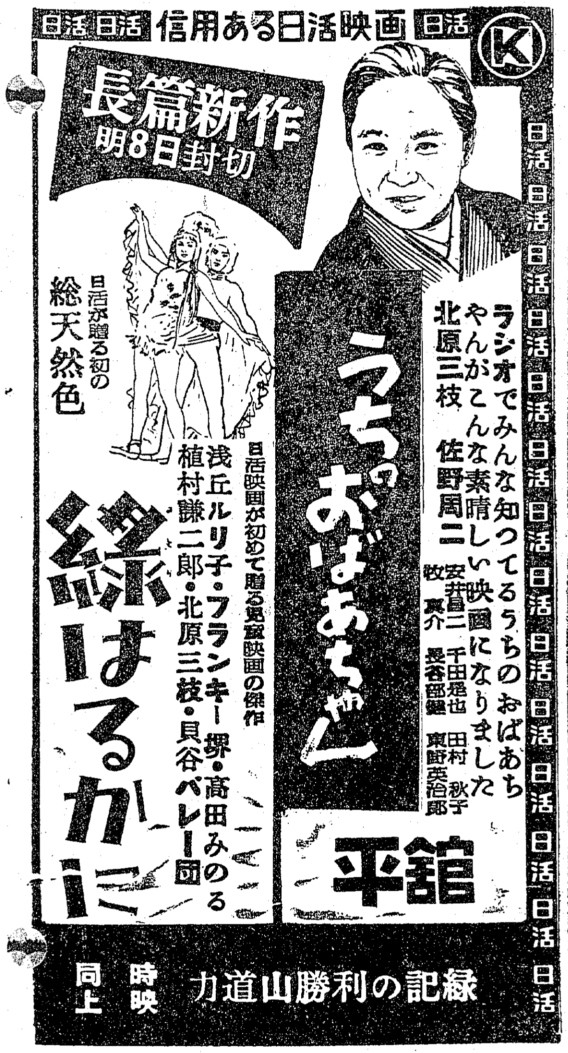
僕はセーブしてるんだよだから女の子と二人でたとえ何処に行つても変な気は起きませんね、淡々たるものですよ…

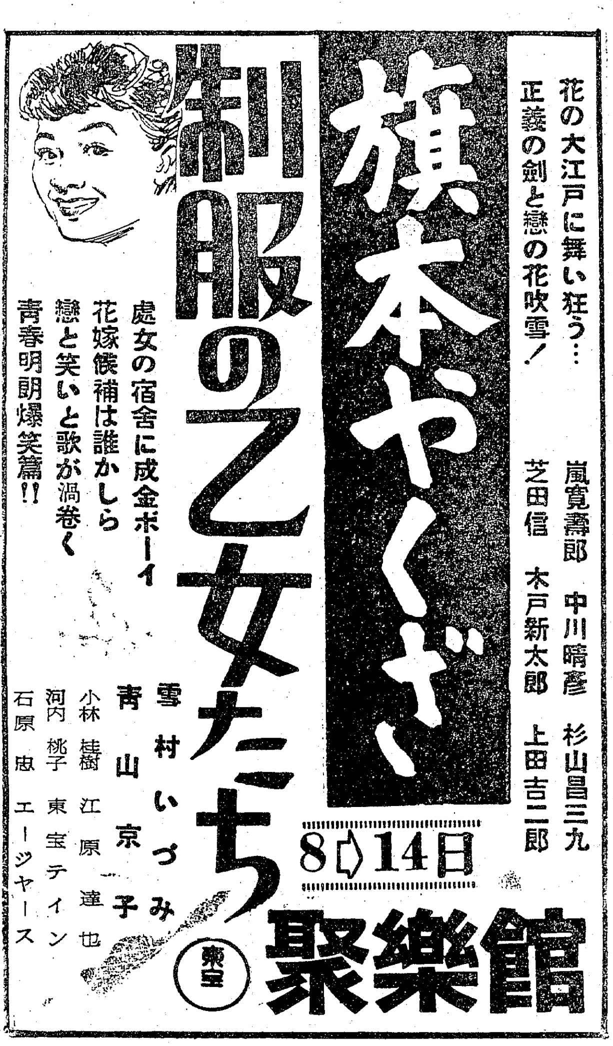
平市役所の名物男鯨岡観光課長はこう前おきしてから〃人間にはねすべて限界があるんでね、長命の秘訣は早く女との接触を断つことですよ。萬回？これが限度でしような、僕などは若い時に道楽した方だから美人のすぐ側にいてもケシカラヌ行動欲にかられませんな若い時代、金物でいると年とつてから世の中にこんな美味しいものがあつたかとホラ老らくの恋とやらにうつつをぬかすんですよ…イヤホント。

銀座店
靴はスガタ
二丁目店

今夜の映画

◇聚楽館（八—十四）制服の乙女たち 旗本やくざ（七 〇〇）
◇世界館（八—十四）目白三平 楊貴妃（七、〇〇）
◇平 館（八—十四）うちのおばあちやん 力道山勝利の記録 緑はるかに（六、三〇）
◇ひかり座（七—十三）高校三年 マルタ島攻防戦（六、四七）
◇民 劇（七日から四日間）休館
◇第二いわき（六—九）フランス航路 地獄の狼（六、三〇）
◇緩映劇（八—十一）花のゆくへ 心のともしび（六、四〇）
①上映時間は夜の部
②映画題名は上映順


日活 日活 信用ある日活映画 日活 Ⓚ
長篇新作 明8日封切
日活が贈る初の総天然色
緑はるかに
浅丘ルリ子・フランキー堺・高田みのる
植村謙二郎・北原三枝・貝谷バレー団
日活映画が初めて贈る児童映画の傑作
うちのおばあちやん
ラジオでみんな知つてるうちのおばあちやんがこんな素晴しい映画になりました
北原三枝 佐野周二 安井昌二 千田是也 田村秋子 牧真介 長谷部健 東野英治郎
平館
同時上映 力道山勝利の記録
日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活 日活


花の大江戸に舞い狂う…
正義の剣と戀の花吹雪！
旗本やくざ
嵐寛壽郎 中川晴彦 杉山昌三九
芝田信 木戸新太郎 上田吉二郎
制服の乙女たち
處女の宿舎に成金ボーイ
花嫁候補は誰かしら
戀と笑いと歌が渦巻く
青春明朗爆笑篇!!
雪村いづみ 青山京子
小林桂樹 江原達也
河内桃子 東宝ティン
石原忠 エージヤース
8⇨14日
東宝
聚樂館

大映カラー・総天然色映画
皇帝と町の娘の悲戀物語
製作 永田雅一 ランランショウ 陶しん
楊貴妃
玄宗皇帝 森雅之
楊貴妃 京マチ子
監督 溝口健二
撮影 杉山公平
祭礼の夜ひそかに宮中を抜け出した皇帝と町の娘そして其の夜町はずれの淡いともしびのかげの下に結ばれた永遠の恋
京マチ子 森雅之 南田洋子 山村聡 進藤英太郎 見明凡太郎
春木富士夫 霧立のぼる 石黒達也 杉村春子 村田知英子
8日より 世界館
大映
まごころ抱いて この世の中にいつも 朗らか三平氣質
サラリーマン
目白三平
笠智衆 望月優子 堀雄二 沢村貞子 小林桂樹 田代百合子 中原ひとみ 杉狂児 東千代之介